

「神経・筋疾患コミュニケーション状況スケールの開発」 についてのお知らせ

国立病院機構東埼玉病院では、標記の調査研究を行なっております。

1 実施目的について

進行性の神経・筋疾患患者さんにおいて会話が困難となると、他者とコミュニケーションをとるために適切な時期に適切な介入をする必要があります。

本研究は進行性の神経・筋疾患に特異的な進行性のコミュニケーション障害の推移を反映しうるコミュニケーション状況スケールを作成することを目的としています。

2 実施内容について

進行性の神経・筋疾患患者さんのうち、2018年3月1日から2021年12月31日までの期間内に、当院外来を受診する患者さん、または2018年3月31日に当院に入院している患者さんと2021年12月31日までの期間内に新たに入院する患者さんを対象とし、診療録または患者さん本人・家族への問診の情報より現在の会話の状況を調査します。また、年齢、性別、身体機能、構音障害、認知機能、臨床病期といった個人情報も収集させていただきます。

3 研究責任者

和田彩子（国立病院機構東埼玉病院 臨床研究部・機能回復・成育医療研究室・客員研究員）

4 研究期間

この研究の実施が許可された日から2025年3月31日を研究期間とします。

5 個人情報およびプライバシーの保護について

この研究の成果は学術的な場でのみ公表します。公表の際には特定の個人を識別できる情報は含まれませんので、個人情報やプライバシーの漏洩や公開は生じません。この研究のために作成したデータファイルが入力されたコンピュータはインターネットには接続せず、厳重なパスワード管理により情報の漏洩を防止します。年齢、性別や病歴など基本情報を含むデータは割り付けられた本研究独自の番号によって識別され、保管されます。データの利用は研究責任者および研究分担者のみが行います。

6 問い合わせ先

梶兼太郎（国立病院機構東埼玉病院 臨床研究部・機能回復部門・リハビリテーション科医師）

この研究の対象とされないことを希望される方、この研究にご質問がある方はこちらにお問い合わせください。